

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成28年10月21日
タイトル	学校のみんなで稲刈りをしたよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成28年10月6日（木）福山市立金江小学校全児童117名が、金江小学校のすぐ近くの田んぼで稲刈りをしました。小川正光総代の管理するほ場300㎡で6月8日に全校児童で田植えをして、5年生が中心になり、稲の成長を見守り稲刈りをすることとなりました。

小学校から歩いてすぐのほ場まで子ども達がやってきました。まずは5年生が稲刈りをし、そのまま田んぼにいて他の学年が刈った稲を束ねる役目です。少しぬかるんだ田んぼへ入り、1株ずつ稲を刈ります。稲刈りは何度もしているので、慣れた手つきでドンドン刈っていきます。

次に2年生が学校から来ました。今年から初めて自分達だけで稲刈りをするため、小川さんが丁寧に稲の刈り方を教えてくださいます。子ども達に分かりやすいように束をばらして見せ「みんなが田植えで稲を植えた時、3本だった稲が約10倍になったよ。」と教えておられました。



小川さんは子ども達に「稲を刈る時は足を開いて腰をかがめる。稲の下から30センチのところを持って少し向こうに傾けて鎌で根元を刈る。鎌の刃が鋸みたいになっているから、なかなか切れん時は鋸みたいに鎌をひくんよ。」と教えておられ、子ども達は身を乗り出して真剣な表情で聞いていました。

田んぼに入る時、先生に鎌を渡され転げないように慎重に奥まで進み、地域の方に教えてもらい稲を刈ります。子ども達はすぐに慣れてドンドン刈っていました。稲は4株を1つにしてくくります。5年生が前日にくくり方を教えてもらったそうで、一生懸命くくるのですがバラバラにならないように束ねるのは難しいようでした。



地域の方に教わりながら束ねていきます！



地域の方と一緒に稲刈り！

次は6年生と1年生と一緒に刈ります。6年生が小さい1年生に刈り方を教えながら一緒に刈ります。さすが6年生、立派なお兄さん、お姉さんで1年生の世話をしながらきれいに稲を刈りました。

続いて、4年生、3年生の順に稲刈りです。まだ稲が沢山残っていましたが、あっという間に刈ってしまい。これには地域の方もびっくりしておられました。



刈った稲は全てはざ掛けにし、最後は一粒の米も無駄にしないようにと5年生が落穂拾いをして稲刈りを終わりました。最後にはざ掛けの竿を増やすほど沢山稲束がありましたが、6月の豪雨の後にジャンボタニシが多く発生したこと、9月に雨が多かったことでイモチ病になり茎が枯れたところがあったので、収穫量は少ないかもしれないそうです。

小川さんから「農作業という仕事は自分の仕事終わったら、次の仕事がみやすくてできるように考えてする事が大事です。それは思いやりです。百姓は思いやりがないといけん。」と子ども達に言っておられました。

稲刈りが終わると学校の校庭へ地域の方と5年生が交流する場が設けられました。地域の方とふれあいながら、田植えや稲刈りでお世話になったお礼を言ったり、肩をたたいてあげたりしました。子ども達も地域の方も自然と笑顔になりました。



金江小学校では、水土里ネット福山の役員、組合員が大変積極的に農業体験に取り組んでおられ、田植えから稲刈りまで指導をされ子ども達と一緒に農業体験をしてこられました。11月には収穫した米をみんなでいただく感謝祭をするそうです。

水土里ネット福山は、引き続きこの取り組みに協力することで、21世紀土地改良区創造運動に取り組んでまいります。